



りんご研究所 (黒石) 参観デー

フル企画で開催!

新型コロナウイルスと台風の影響で、昨年と昨年と実施が叶わなかった黒石りんご研究所参観デーを講演会も含めて以前同様の企画内容で9月5、6日に開催しました。場内での飲食を可能としてミスりんごによるりんごの試食販売を復活させたほか、今年は、以前のそば、やきとりに代わって、たこやき、焼きそば、ハンバーガーのキッチンカーが参入しました。2日間とも概ね天候に恵まれましたが、生育の早まった稲の刈取りや「つがる」の収穫にぶつかったこともあったか、来場者は例年より少なくなりました。



今年もクイズラリーが好評、

県南果樹部 (五戸) 参観デー

県南果樹部 (五戸) の参観デーは9月14日に開催しました。降雨が心配されましたが、何とか終了まで天気は持ちこたえてくれました。今年はセイヨウナシ品評会も実施され、展示品の販売も行なわれました。昨年同様に圃場を見学しながら行なうクイズラリーを実施しましたが、難問奇問があつて、全問正解は難しかったようです。参加者全員に県南果樹部の果実を進呈したこともあり、大変好評でした。



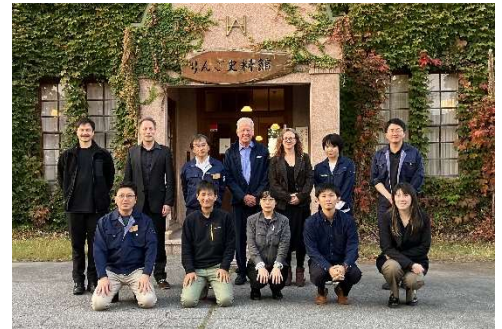
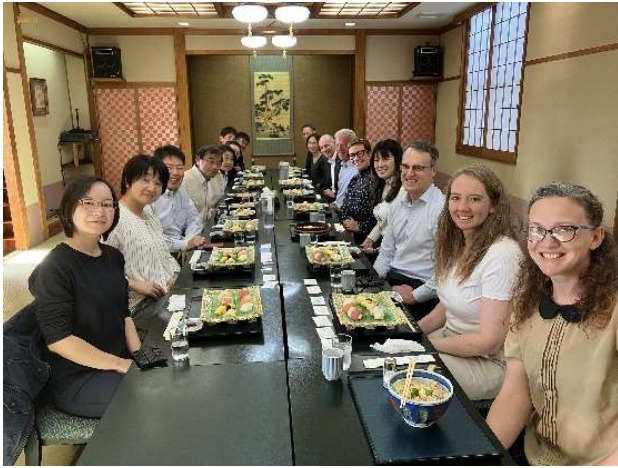
松の木伐採 (黒石)

研究所に接する西側外縁に新たな住宅が建築され、所内にそびえる松の巨木が覆い被さる状態になりました。折れた枝が住宅にぶつかる懸念があるため、巨木2本の伐採を専門業者に委託しました。松枯れセンチュウを伝播するマツノマダラカミキリの活動が終息する秋まで待ち、10月17日、18日に実施しました。今回切った松は、旧街道際に植えられるものと百二十年歳を超えていると推定されま



ニュージーランド視察団との交流

10月24日、昨年引き続き、ニュージーランドのリンゴ・ナシ視察団の来訪を受け、各部長、副部長らと交えて会食を行なうなど交流を行ないました。26日には、視察団の研究者と研究協力について、互いの情報を提供しながら議論を行ないました。また、11月28日にもオンラインでミーティングを行い、関係構築を深めています。3月には我々がニュージーランドを視察し、勉強したいと考えて準備を進めています。



西洋なしリーガル・レッド・コミスに関する意見交換会 (県南果樹部)

11月21日、これまで特性評価を行なってきた果皮の赤い西洋なしの「リーガル・レッド・コミス」の普及性を考えるために、生産者、流通業者、消費者(野菜ソムリエ)、及び県の果樹担当者に果実を試食していただき、意見を伺いました。当品種の評価のみならず、青森県における西洋なしの推進方向を考える良い機会となりました。



今年も(1) 献上りんご

今年も毎年行なってきた皇室の方々の「献上りんご」の箱詰め作業をマスコミ各社が取材にやってきました。今年度は県内の新聞、テレビでの紹介のほか、NHKが全国放送(おはよう日本)「地域の話」で作業風景と所長のコメントを取り上げました。



今年も(2) 映える史料館

今年もりんご史料館の蔦が紅葉し、多くの方が写真を撮りにやってきました。そんな11月半ばのある日に撮影した逆さ史料館です。研究所内で見られた季節の一コマです。上下どちらが本物?(写真・田沢撮影)。

今年も(3) 品評会

今年も11月29日に「青森県りんご品評会」の審査をりんご研究所の職員が行ないました。今年度は天候の影響で出品数は減りましたが、出品された果実はどれも見事なものでした。



編集後記

まずは、能登地震の被災者の方々に御見舞い申し上げます。秋以降の話題を詰めて進めてきましたが、今年度内にもう1回発行したいところですが(YH)。